

郡山市における大豆の作付拡大に向けた取組

県中農林事務所農業振興普及部

1 背景・ねらい

<背景>

○郡山市の大豆作付面積は減少傾向

299ha(H21) ⇒ 128ha(R5)

○湿害等により単収は県平均を下回る

<水田農業をめぐる情勢>

○主食用米の需要が年々減少

○大豆・小麦等の国産需要が上昇

**⇒水田を活用した畑作物への
転換が求められている**

<ねらい>

活動①: 排水対策等の栽培技術支援

経営所得安定対策等の支援制度・大豆販売の支援

活動②: 高品質・安定生産モデルを確立し、管内での波及を目指す

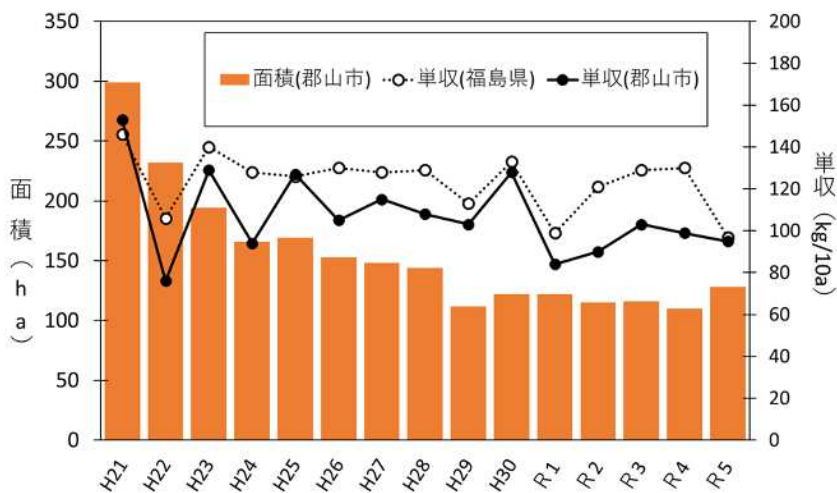
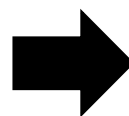


図1 郡山市の大豆作付面積と単収の推移



大豆収量の増加
面積の拡大！！

2 活動内容

(1) 畑作物生産振興支援チームの活動(R4～R6)

○令和4年に関係機関と連携した支援体制を構築

⇒毎月チーム員会議を開催し情報共有。

○巡回指導による適期作業の推進

⇒播種、防除、収穫時期に重点的に巡回。

○栽培指導会や経営所得安定対策説明会の開催

⇒技術的な内容に加え、制度や大豆の販売状況などを説明。

(2) モデル経営体の設置(R4～R6)

○水田転換畑において、適期作業の実施をはじめ、排水対策や適切な雑草・病虫害防除により収量・品質の安定化を図っている生産者をモデル経営体として設定。

⇒生育・収量調査に加え、労働時間を調査。

⇒排水対策の効果を検証するため、地下水位の調査を実施。

○モデル経営体の概要(R6)

- ・従業員5名、臨時雇用7名
- ・水稲67ha、大豆25haを作付けする大規模経営体
- ・湿害対策: 額縁明きょ、心土破碎、耕うん同時畝立播種
- ・雑草対策: ディスク型中耕培土、茎葉処理除草剤
- ・病虫害防除: ドローンによる適期防除の実施

〈JA福島さくら〉
・栽培技術支援
・出荷体制推進

〈県中農林事務所〉
・栽培技術支援
・大豆作導入推進

大豆生産者や
大豆導入を
検討中の生産者

〈郡山市〉
・経営所得安定対策等関連事業の活用推進
・補助事業等の活用推進

図2 支援体制



図3 経営所得安定対策説明会



図4 耕うん同時畝立て播種

3 活動の成果

(1) 畑作物生産振興支援チームの活動

○団地面積の拡大と単収の増加

- ⇒雑草繁茂が課題であった生産者で、中耕培土が実施されるようになった。
- ⇒農業者の高齢化で防除作業の負担が増えていた地区でドローンが導入され、省力化が図られた。

○乾燥・調製施設の更新

- ⇒チーム員会議で、設備の老朽化により選別作業に時間が掛かる等の課題が共有され、一部の設備が更新された。これにより、大豆の生産面積拡大に対応するための体制が整備された。

(2) モデル経営体の設置

○収量の安定、品質の向上

- ⇒単収: 149kg/10a(R3) → 144kg/10a(R5)
- 1等比率: 2.8%(R3) → **62.8%**(R5)

○大豆作導入による労力分散

- ⇒5月は水稻の田植え作業、6月は大豆の播種作業を行うなど、作業時期を分散することで大規模面積に対応している。

○排水対策の効果を確認

- ⇒排水対策の重要性を説明する上での基礎データとして、地下水位を測定した。地下水位が高い排水不良ほ場では、湿害による収量低下が確認され、排水対策の重要性を再確認することができた。

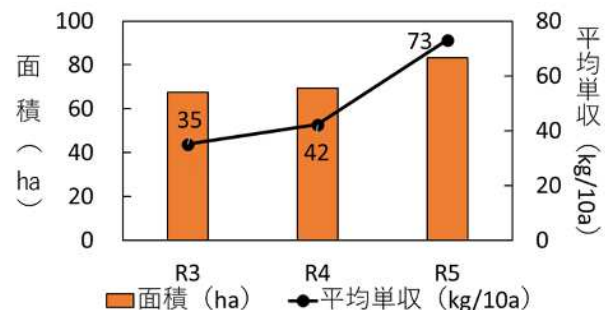


図5 大豆団地の作付面積と平均単収

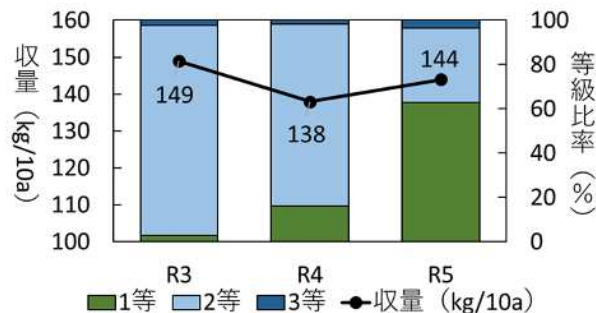


図6 モデル経営体の収量と等級比率

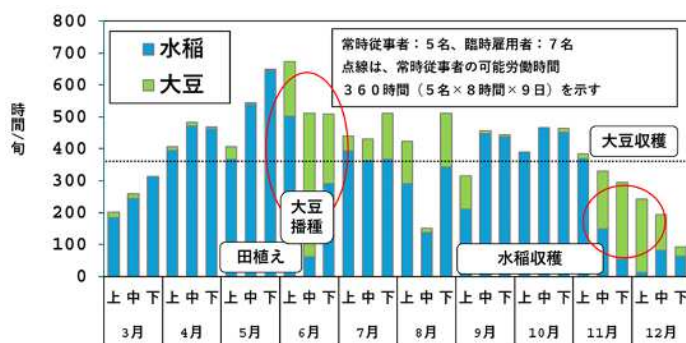


図7 モデル経営体の旬別労働時間(R6)

表1 成熟期の生育と収量(R6)

区名	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/株)	総節数 (節/株)	稔実英数 (英/m ²)	精子実重 (kg/a)	百粒重 (g)
排水不良ほ場	40.2	12.9	32.9	411	19.7	43.0
対照ほ場	55.0	13.6	33.9	579	36.8	45.2

※精子実重及び百粒重は水分15%換算

※精子実重は篩目7.3mm以上の整粒の重量

4 今後の活動・方向性

(1) 各生産者の収量・品質向上に向けて

○畑作物生産振興支援チームによる栽培指導会の充実

- ⇒モデル経営体の優良事例を紹介する現地指導会を開催する。
- ⇒湿害対策や雑草対策、病虫害防除の実施を推進する。
- また、開花期頃の干ばつ対策も支援する。

(2) モデル経営体のデータを活用した大豆導入推進

★水稻、大豆の収益を調査し、作業時間当たりの収益性を評価する。

- ⇒「水稻+大豆」経営の導入推進に活用する。

チラシ等での紹介、モデル経営体ほ場での現地指導会 など

(3) 6次化支援

○大豆生産者の収益向上に向けた、6次化商品の開発・販売の支援

- ⇒加工業者とのマッチングや補助事業の活用を推進する。



図8 大豆6次化商品

(大豆焼酎・豆菓子・青豆醤油)

郡山市ならではの
米・大豆づくりを
推進!